

【巻末資料】

品質管理基準及び規格値(コンクリート(ダム))

コンクリート(ダム)の品質管理基準及び規格値については、林野仕様書の品質管理基準及び規格値の
 1. セメントコンクリート(覆工コンクリート・吹付コンクリートを除く)及び以下の表によるものとする。

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
コンクリート(ダム)	施工	必須	温度測定	温度計による		1回 供試体作成時各ブロック打込み開始時終了時。		
		その他	コンクリート単位容積質量試験	JIS A 1116	設計図書による	1回2ケ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。	参考値：2.25t/m ³ 以上	
			コンクリートの洗い分析試験	JIS A 1112		1回 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。		
			コンクリートのブリージング試験	JIS A 1123		1回1ケ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。		
			コンクリートの引張強度試験	JIS A 1113		1回3ケ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。		
			コンクリートの曲げ強度試験	JIS A 1106		1回3ケ 当初及び品質に異常が認められる場合に行う。		

【卷末資料】

施工管理図表（例）

森林整備工事撮影箇所一覧表

総括監督員	一般監督員

出来形図 (例)

工事番号

工事名

現場代理人

施工管理担当者

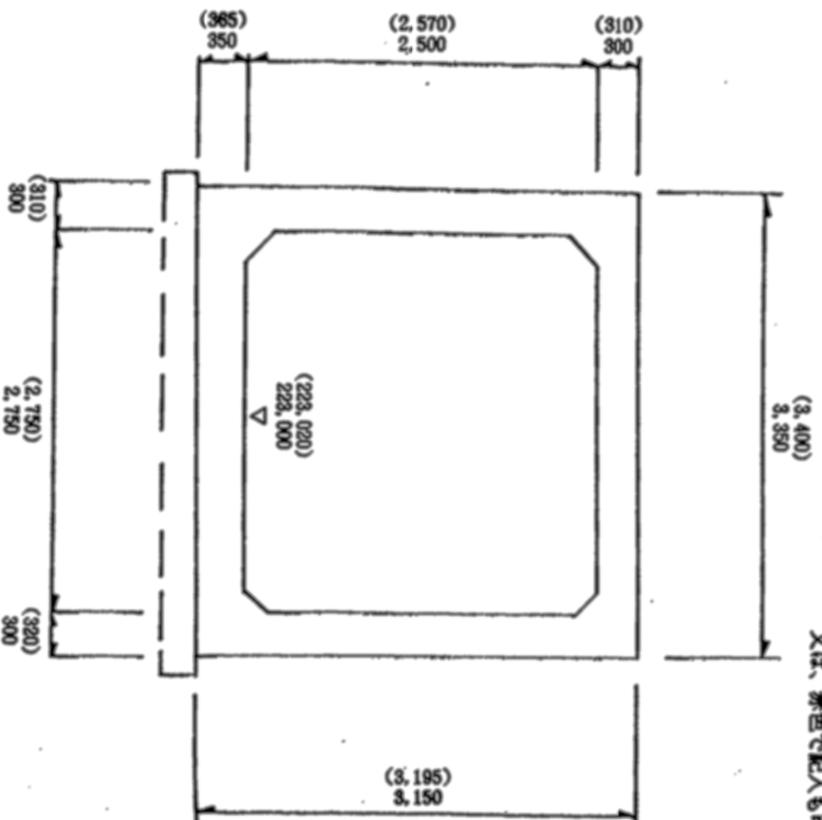
ボツクスカルバート (例) 測点NO. 1

単位 mm

().....実測値

又は、赤色で記入も可

又は、青色で記入も可

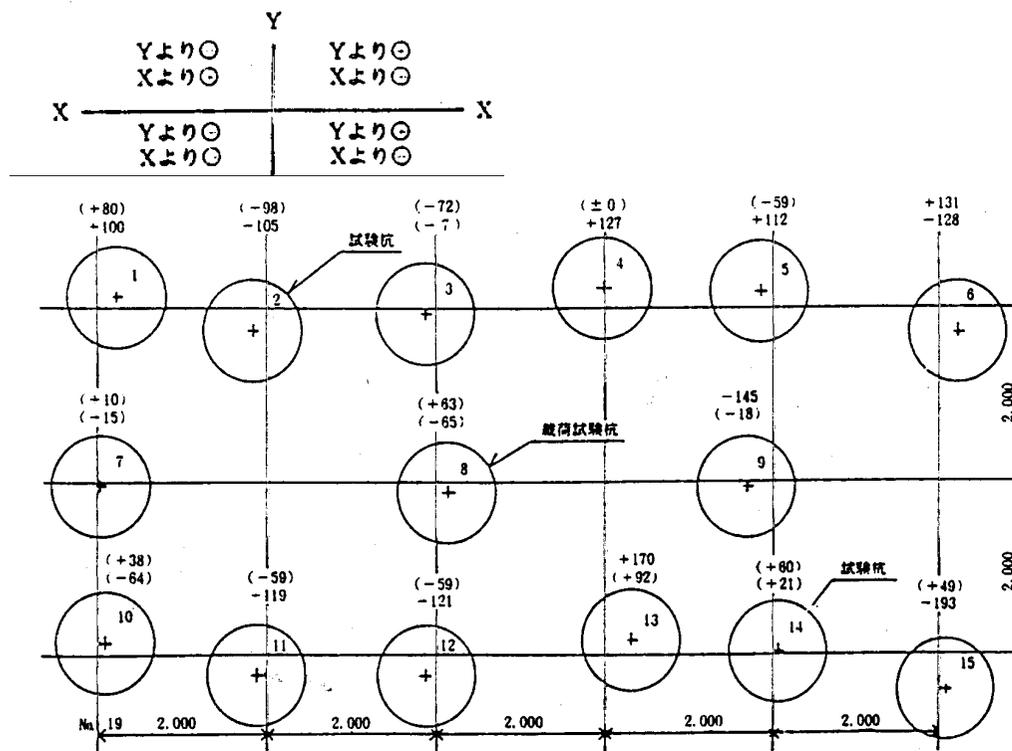


コンクリート杭打偏心出来形図(例)

総括監督員	一般監督員

工事番号 _____ 工事名 _____ 現場代理人 _____ 施工管理担当者 _____

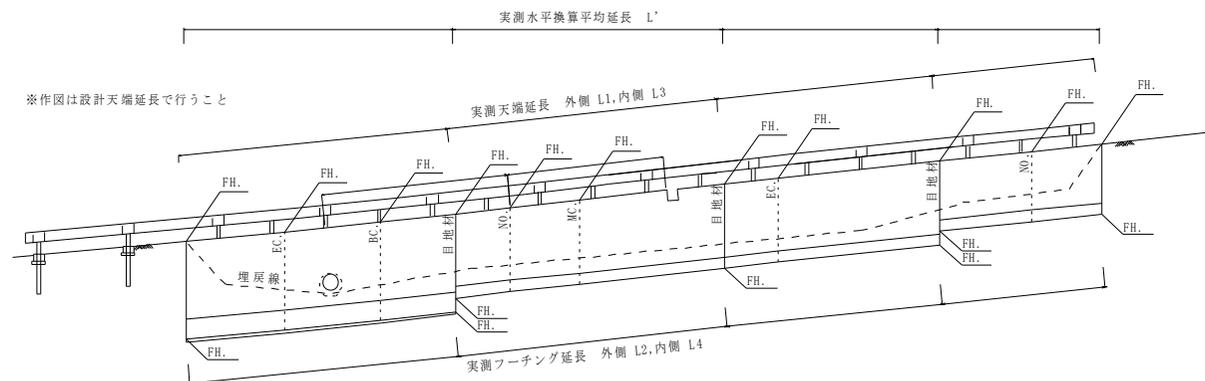
上段 Y より 杭 径 300mm (規格値、杭径以内)
 下段 X より 鉄筋コンクリート擁壁工基礎杭No.19~No.19+10m右側
 注、偏心量が100mm以上のものについてのみ記入してもよい。
 記入例において()は100mm以下のもの



コンクリート擁壁（ブロック積）展開図（例）

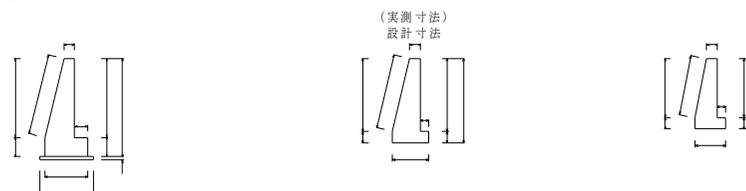
※例であり、必要項目が記載されてあれば、様式は問わない。

コンクリート擁壁

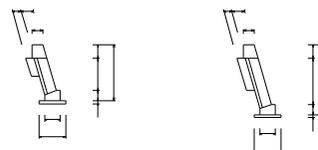
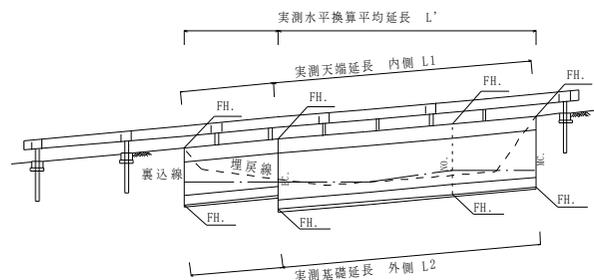


記入注意事項

1. 天端延長（厚（巾）さを確保された測定結果表での指定部分）
2. 仕上り敷延長（ # ）
3. フーチング延長（ # ）
4. 基礎延長（フーチングの基礎として巾及び長さを確保された測定結果表での指定部分）
5. 壁の立上り、フーチング又は基礎の高さ、基礎の厚さ（各変化点）
6. 埋戻線とブロック積裏込砕石線
7. 各変化点の断面
8. 施設位置確認のための測点
9. 関連施設の位置、高さ（ヒューム管、横断溝、防護施設等）
10. 目地材の位置
11. 縮尺は1/100とする



ブロック積



路線名	線		事業名		
林道区分	級別区分	級	設計速度	km/h	
年度	令和	年度	施行主体	兵庫県	
名称	葉中 番				
施工地	兵庫県	市	町		
縮尺	審査者		設計者		

森林整備工事撮影箇所一覧表

工種		管理項目	写真			
			撮影項目	時期	頻度	備考
森林造成	地拵え	作業範囲	地拵えの範囲(境界)	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する
"	"	地拵えと立木伐採の方法	地拵えと立木伐採の方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの作業が安全に実施されているか撮影する また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	段積み	段積みの幅	施工後	1標準地当たり1箇所	段積みの両端にポールを立て、幅を撮影する
"	枯松伐倒	伐採本数(総数)	伐採木のNo.	施工後	伐採本数の0.3%かつ最低3枚	伐採木の切株とNo.が確認出来るように撮影する
"	植栽(設計図書に本数が面積当たりで計上)	苗木の仮植	仮植の方法	施工後	樹種別に箇所当たり1枚	仕様書通りの仮植が施工されているか撮影する
"	"	苗木の運搬	運搬の方法	運搬中	樹種別に箇所当たり1枚	仕様書通りの運搬がなされているか撮影する
"	"	苗木の植栽	植栽の方法	施工中 施工後	樹種別に1,000本当たり1箇所	仕様書通りの植栽が施工されているか撮影する
"	"	標準地	標準地	施工後	全標準地	標準地の4隅にポールを立て、標準地No.を記載し、位置を表示する
"	"	苗木の植栽	植栽の幅	施工後	1標準地当たり1箇所	斜面方向と等高線方向の水平距離が確認できるように撮影する
"	植栽(設計図書に本数で計上 ※大苗木を想定)	苗木の仮植 又は保護養生	仮植又は保護養生の方法	施工後	樹種別に10本当たり1枚	仕様書通りの仮植又は保護養生が施工されているか撮影する
"	"	苗木の運搬	運搬の方法	運搬中	樹種別に10本当たり1枚	仕様書通りの運搬がなされているか撮影する
"	"	苗木の植栽	植栽本数と植栽の方法	施工中 施工後	樹種別に10本当たり1枚	仕様書通りの植栽が施工されているか撮影する
"	"	支柱の組み立て	組み立て形状・結束方法	施工後	支柱の種類・樹種別に10本当たり1枚	仕様書通りの結束等、組み立てが施工されているか撮影する
"	獣害防止柵	支柱	支柱間隔	施工後	200mごとに1箇所	支柱間にテープを張り、延長が確認できるように撮る
"	"	"	支柱高さ	施工後	200mごとに1箇所	支柱の山側にスタフを当て、支柱高さが確認出来るよう撮る
森林造成	獣害防止柵	防止網	設置方法	施工後	200mごとに1箇所	仕様書通りに支柱に結束され、網が弛まずに張られているか確認できるように撮る
"	"	アンカー	設置方法	作業中	200mごとに1箇所	アンカーの打ち込み作業を撮る
"	植栽資材数量	苗木	本数	荷卸し時	箇所・搬入・樹種ごとに全数	工事番号・箇所・苗木名・本数を記入して撮影する

森林整備工事撮影箇所一覧表

工種		管理項目	写真			
			撮影項目	時期	頻度	備考
〃	〃	山行苗木	規格	荷卸し時	箇所・搬入・樹種ごとに1枚	苗長が確認出来るように撮影する
〃	〃	中苗木・大苗木	規格	荷卸し時	搬入・樹種ごとに1枚	苗長・幹回りが確認出来るように撮影する
〃	〃	肥料	袋数	荷卸し時 使用後 (空袋)	箇所・搬入・種類ごとに全数	工事番号・箇所・No.・数・種類を記入して撮影する(No.は袋に記入する)
〃	〃	支柱	本数	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・規格・本数を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	長さ・直径が確認出来るように撮影する
〃	〃	ヘキサチューブ	本数	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・規格・本数を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	長さ・直径が確認出来るように撮影する
〃	〃	支柱(獣害防止柵)	本数	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・材料名・本数を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	長さ・形状が確認出来るように撮影する
〃	〃	網(獣害防止柵)	延長	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・材料名・延長を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	網目・幅が確認出来るように撮影する
森林造成	植栽資材数量	アンカー(獣害防止柵)	本数	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・材料名・本数を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	長さ・形状が確認出来るように撮影する
〃	〃	ロープ(獣害防止柵)	延長	荷卸し時	箇所・搬入・材料ごとに全数	工事番号・箇所・材料名・延長を記入して撮影する
〃	〃	〃	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	ロープの規格を記入し、確認できるよう撮影する
〃	〃	結束材料	規格	荷卸し時	材料ごとに1枚	鉄線・縄等の規格を記入し、確認できるよう撮影する
保育	下刈	作業範囲	下刈の範囲(遠景)	施工前 施工後	全体を確認できる場合は1枚 困難な場合は数枚に分ける	遠景の撮影が困難な箇所は、中景としても良い
〃	〃	〃	下刈の範囲(境界)	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する

森林整備工事撮影箇所一覧表

工種		管理項目	写真			
			撮影項目	時期	頻度	備考
"	"	下刈の方法	下刈の方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの作業が安全に実施されているか撮影する また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	標準地	標準地	施工前 施工後	全標準地	標準地の4隅にポールを立て、標準地No.を記載し、位置を表示する
"	追肥	追肥の量	1本当たり肥料の個数・重量	施工前	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	1本当たりの肥料の個数、重量が確認できるように撮影する
"	"	追肥の方法	肥料の個数・量・位置	作業中	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの施肥がなされているか撮影する
"	除伐	作業範囲	除伐の範囲(遠景)	施工前 施工後	全体を確認できる場合は1枚 困難な場合は数枚に分ける	遠景の撮影が困難な箇所は、中景としても良い
"	"	"	除伐の範囲(境界)	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する
"	"	除伐の方法	除伐の方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの作業と整理が安全に実施されているか撮影する また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	標準地	標準地	施工前 施工後	全標準地	標準地の4隅にポールを立て、標準地No.を記載し、位置を表示する
保育	除伐	除伐本数(主林木)	伐採木No.	施工後	1標準地当たり全数	伐採木の切株とNo.が確認出来るように撮影する
"	"	残存木本数(雑木)	残存木No.	施工後	1標準地当たり全数	残存木No.が確認出来るように撮影する
"	枝落とし	作業範囲	枝落としの範囲(境界)	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する
"	"	枝落としの方法	枝落としの方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りに安全に作業が出来ているかわかるように撮る また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	枝落としの方法	切断面	施工後	枝落とし本数の0.3% (3枚未満の場合は3枚)	仕様書通りの切断面になっているかわかるように撮る 写真を撮る立木のみナンバリングを行う
"	"	標準地	標準地	施工前 施工後	全標準地	標準地の4隅にポールを立て、標準地No.を記載し、位置を表示する
"	"	枝落とし本数	枝落としした立木No.	施工後	1標準地当たり全数	枝落としする立木のNo.が確認できるように撮る
"	"	枝落とし	枝落とし高さ	施工後	1標準地当たり全数	立木の山側にスタフを当て、枝落とし高さが確認できるように撮る
"	本数調整伐	作業範囲	伐採の範囲(境界)	施工後	林況別ごとにha当たり1箇所かつ 最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する
"	"	標準地	標準地	施工前 施工後	全標準地	標準地の4隅にポールを立て、標準地No.を記載し、位置を表示する

森林整備工事撮影箇所一覧表

工種		管理項目	写真			
			撮影項目	時期	頻度	備考
"	"	伐採本数	伐採木No.	施工後	1標準地当たり全数	伐採した立木のNo.が確認できるように撮る
"	"	伐採本数(総数)	伐採木No.	施工後	林況ごと伐採本数の0.3% (3枚未満の場合は3枚)	伐採した立木のNo.が確認できるように撮る
"	"	本数調整伐の方法	伐採の方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの伐採が安全に実施されているか撮る また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	本数調整伐の方法	伐採木の整理	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	仕様書通りの枝払い・整理が実施されているか撮影する
獣害防止工	獣害防止柵	※森林造成に準ずる				
歩道作設	歩道	延長	測点間延長	施工後	100m当たり1断面	測点にポールを立て、テープを張り、延長が確認できるように撮る
"	"	幅員	幅	施工後	100m当たり1断面	歩道の両サイドにポールを立て、テープを張り、幅が確認できるように撮る
"	"	法勾配	切土勾配	施工後	法高さ2.0m以上の断面全数	法尻にスタフを立て、法肩からポールを当て、勾配が確認できるように撮る
"	"	掘削	切土、盛土、法面仕上げ	作業中	100m当たり1箇所	安全な作業を実施しているか確認できるように撮る
風倒木処理	林内	作業範囲	伐採の範囲(境界)	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	測点にポールを立て、測点間にテープを引っ張って撮影する
"	"	伐採本数	伐採木No.	施工後	1標準地当たり全数	伐採した立木のNo.が確認できるように撮る
"	"	伐採の方法	伐採の方法・成果・安全管理	施工前 作業中 施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	伐採が安全に実施されているか撮る また、施工前と施工後の違いがよくわかるように撮影する
"	"	伐採の方法	伐倒木の整理	施工後	ha当たり1箇所かつ最低3箇所	枝払い、玉切りが安全に実施されているか撮る
"	搬出箇所(ストックヤード)	搬出本数	本数	集積後	集積単位当たり全数	集積した本数が確認できるように撮る
"	"	搬出木	形状	集積後	集積単位当たり3本	長さ、末口径にテープをあて、寸法が確認できるように撮る
"	搬出箇所(処理場)	運搬	積載状況	搬出先	風倒木の箇所ごとに3枚	トラックへの積載状況が確認できるように撮る 搬出先(処理場)で写真を撮る